

「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本構想（素案）」に対するパブリックコメントの実施結果について

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会宮崎県準備委員会
（宮崎県総合政策部国民スポーツ大会準備課）

「第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本構想（素案）」について、県ホームページ等を通じ、県民の皆様から御意見を募集してまいりました。その結果、以下のとおり貴重な御意見をいただきました。

いただきました御意見に対する県準備委員会の考え方は次のとおりです。同趣旨の御意見については同一項目で整理しています。

1 実施概要

- (1) 実施期間 : 令和2年9月1日（火）から9月30日（水）まで
- (2) 提出者数 : 2名、1団体

2 意見区分及び件数

意見区分		件数
第1章	第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本構想について	1
第2章	国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会について	8
	1 国民スポーツ大会とは	7
	2 全国障害者スポーツ大会とは	0
	3 国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会のあゆみ	0
	4 宮崎県における大会開催の意義	1
第3章	第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本方針	0
第4章	「実施目標」の具体的な取組	10
	1 「チームみやざき」で創りあげる大会	1
	2 スポーツの素晴らしさを体感できる大会	9
	3 宮崎県の魅力を全国に発信する大会	0
	4 「未来のみやざき」づくりを進める大会	0
	5 共に支え合う社会づくりを進める大会	0
第5章	宮崎県での大会開催を契機としたスポーツを活用した県づくりの展開	2
	1 県内におけるスポーツの推進	2
	2 競技会や合宿誘致等による地域振興	0
	3 誰もが楽しめるスポーツ環境の充実と県民の健康づくり	0
全般		6
総数		27

3 提出されたご意見の区分、内容、件数及び意見に対する考え方

区分	意見内容（要旨）	件数	意見に対する考え方
第1章	第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会開催基本構想について	1	
	<ul style="list-style-type: none"> 基本構想とともに、競技力向上など構想実現に要する毎年の経費、組織体制、施設の建設、整備の経費とその後の維持、運営経費などを明らかにして、県民、国体に参加する選手、指導者、関係機関・団体などすべての関係者で、これからの競技スポーツのあり方を踏まえた本県開催の国体のあり方を徹底的に議論すべきだと考えます。 	1	県内競技団体をはじめ、市町村、産業・経済、学校関係、宿泊・衛生、医療・福祉等の関係機関・団体の代表者で構成される県準備委員会において、御意見をいただきながら、開催に向けての様々な方針等を議論して決定させていただいているところです。
第2章	国民スポーツ大会と全国障害者スポーツ大会について	8	
	1 国民スポーツ大会とは	7	
	<ul style="list-style-type: none"> 国体の大きな目的は達成し、その使命は終えたように考え、人口減少や社会経済情勢の変化、学校教育と部活動など諸状況の変化を踏まえ、根本的に見直すべきだと考えます。 	1	御意見にありますように、国体は当初、戦後の荒廃と混乱の中にある国民に希望と勇気を与えることを目的に開催され、スポーツ施設の整備や都道府県のスポーツ振興体制及び競技団体等のスポーツ組織の充実に寄与してきました。その後、国体を取り巻く社会情勢の変化により様々な課題も指摘されています。
	<ul style="list-style-type: none"> 国体がスポーツの普及による国民の健康増進、体力向上等に貢献したことは間違いないが、今、人々は自主的に多様なスポーツを気軽に楽しむことができる時代となっていることから国体の最も大きな使命はなくなったと考える。 	1	これまでも国体（国スポ）のあり方については、（公財）日本スポーツ協会が開催する国民体育大会委員会においても検討されており、改革に取り組んでいるところです。
<ul style="list-style-type: none"> 過去、競技団体だけでは自前の全国大会を開催することができなかった時代には、全国規模の大会として開催される国体は、競技の普及、振興に大きく貢献したが、現在は競技団体が自前で全国大会を開催していることから、国体の担ってきた意義、役割はなくなったと考える。 	1	その中で、同協会が平成25年3月に策定した「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」において、21世紀の国体の目指す方向性（コンセプト）として、国体を通じた「地域活性化」、「スポーツ文化の浸透」、「アスリートの発掘・育成・強化」を示しており、その取組を推進していくこととしています。	
<ul style="list-style-type: none"> これまでの国体開催県では多額の税金を投入し、道路や競技施設の建設・整備をしており、全国各県に立派な競技場が整備されており、国体を開催するために新たな競技施設を整備する必要はなく、そのことから国体の意義、役割はなくなったと考える。 	1	本県においてもこの指針等を基に、新しい国体（国スポ）開催に向けた取組を検討していきます。	

区分	意見内容（要旨）	件数	意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国体は、開催県が全種目に「フルエントリー」して得点が保障される仕組みになっており、スポーツマンシップを大切に戦うことに価値のある競技スポーツとしての魅力に欠けている。このようなアンフェアな仕組みのもとで開催される国体は、とても「国内最大」レベルの競技大会とはいえない。 ・ 多額の税金を使いあらゆる方法で選手を強化し、競技力を向上して、天皇杯を獲得するという不適正な勝利至上主義があります。各県が地理的条件、人口、財政力を無視し、無理を重ねて競技力の向上に取り組むことでいろいろな問題が生じており、コロナ禍で苦しむ日本国内で県同士が無理して天皇杯を争うことに意味があるのでしょうか。 ・ 異なる競技の得点合計で都道府県順位を争う方式が、不適正な勝利至上主義や、選手・指導者の過密スケジュール等、様々な問題の大きな原因であり、競技スポーツの適正な発展のために、国体の都道府県対抗方式は、直ちに見直すべきだと考えます。 	<p>1</p> <p>1</p> <p>1</p>	<p>前述の21世紀の国体の目指す方向性（コンセプト）にある、「アスリートの発掘・育成・強化」の観点からも、地元である開催県がブロック予選を経ずに本大会へ出場できる「開催県のフルエントリー」により、多くのアスリートの発掘・育成・強化が計画的かつ継続的に展開されることと、大会開催に向けた機運の醸成等を図るための取組を通しての、地元住民へのスポーツ文化の浸透も目的としています。</p> <p>本県においても、第5章に記載のとおり、大会開催を契機としたスポーツを活用した県づくりへと繋げていくものとしています。</p>
	<p>4 宮崎県における大会開催の意義</p>	<p>1</p>	
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本来の使命をなくし、本来の競技スポーツのあり方を見失った、現在の国体のあり様は、このままでは、本県のスポーツ振興に貢献するとは考えられず、本県で国体を開催するために、選手強化や競技施設の建設などに県民の税金を使うことは間違っており、特に、多額の税金を投入して新たな競技施設を建設することは、本県の将来にとって大きな負担であり、直ちに見直すべきだと考えます。 	<p>1</p>	<p>施設整備は、将来へ向けての大きな投資となるものであり、今回の投資を、大会の開催だけでなく、大会後を見据えながら、本県の将来に如何につなげていくのかといった視点が重要だと捉えています。</p> <p>第5章に記載のとおり、大会開催は県内の競技スポーツの推進だけでなく、全県的な地域振興、県民の健康づくりや生きがいづくりなど、スポーツを生かした「未来のみやぎき」づくりに繋げることを目標として取り組んでいきます。</p>

区分	意見内容（要旨）	件数	意見に対する考え方
第4章	「実施目標」の具体的な取組	10	
	1 「チームみやざき」で創りあげる大会	1	
	・ 大会の主役は選手です。何事も選手第一で考え、取組むことが大切だと考えます。	1	競技会を円滑に運営するために、競技役員等の計画的な養成やボランティア活動への参加を推進します。
	2 スポーツの素晴らしさを体感できる大会	9	
	・ 「国スポは、一部の競技だけでなく、参加する全ての競技が一致団結して、取り組むべきものであるという」全競技団体の共通理解があり、行われるべきだと考えております。	1	これまでも、県スポーツ協会・県競技力向上対策本部において、競技団体を一堂に会した県強化対策会議等を開催しており、今後も引き続き国スポ開催へ向けた共通理解を図っていきます。
	・ 「未普及競技の育成・強化」についての記載がありますが、未普及競技の定義を明確にした方が分かりやすいのではないかと。	1	これまでも、県競技力対策本部において、競技団体ヒアリング等を実施しながら、全競技の育成・普及・強化に取り組んでいます。 いただいた御意見を踏まえまして、以下のように修正します。
	・ 競技人口減少に歯止めがかからないなど、多くの競技団体も苦慮しており、「未普及競技の育成・強化」ではなく、「オール（チーム）宮崎による全競技の育成・普及・強化」等という文言にし、強化について、全ての競技団体が網羅され、足並みを揃え、安心して強化できるような文言にさせていただくように要望します。	1	《第4章》 2 スポーツの素晴らしさを体感できる大会 (1) 競技力の向上 ○ <u>全体的な競技力向上を図るとともに、本県選手団の更なる強化のため、ジュニア期からの選手の発掘・育成・強化、有望選手の確保等を推進し、全国大会や国際大会等で活躍できる選手の育成・強化に取り組みます。</u>
	・ 「普及の進んでいる競技の更なる強化と振興」「競技得点の高い団体競技の更なる競技力強化」等の文言を入れていただくよう要望します。	1	
・ 競技力向上に係る指導者養成を目的とした内容となっており、指導者だけでなく、「競技団体やそれに関わる大会を運営する人材の育成」の文言も入れていただくよう要望します。	1	項目1『「チームみやざき」で創りあげる大会』の「(2) ボランティア活動等の推進」において競技役員等の計画的な養成を図ることとしています。	
・ 新施設はもちろんです、既存施設及び競技用具の整備・更新・充実を図ることの記載をぜひお願いします。	1	いただいた御意見を踏まえまして、以下のように修正します。 《第5章》 1 県内におけるスポーツの推進 - (略) -、 <u>競技力向上に向けた既存施設及び競技用具の整備等により</u> - (略) -	

区分	意見内容（要旨）	件数	意見に対する考え方
	<ul style="list-style-type: none"> 1 巡目の国体本県開催後の本県競技スポーツの低迷を真摯に検証するため、当時の指導的役割を経験した方に、意見・提言をもらい、今後の取り組みに生かすことが必要だと考えます。 	1	県競技力向上対策本部において、前回の本県開催国体の成果・課題を含めた取組を推進していくこととしています。
	<ul style="list-style-type: none"> 国体の本県開催で大切なことは、国体を機会に力強い本県スポーツをつくり育て継続することです。基本構想についての県民の納得、本県競技団体の自主的活動の推進、競技力向上に関する指導者などの育成、本県スポーツのあり方や競技力向上の分析能力の向上、大会運営能力の向上、スポーツ医・科学の向上、スポーツと健康、スポーツと医療費、観光振興など本県経済に対する認識向上について、計画的、継続的に取り組むことが必要だと考えます。 	1	現在、競技力向上対策本部を中心に、推進計画に基づき、指導者養成やスポーツ医・科学的な面からの選手へのサポート等について、計画的・戦略的に事業を推進しているところでありますので、今後の取組の参考とさせていただきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 本県競技スポーツの浮沈は、現場の選手、指導者と競技活動をまとめる競技団体が握っています。本県競技スポーツの現状とこれから、国体のあり方などについて、行政の担当者が自ら競技団体と、直接、ひざを突き合わせて話し合い、そのことを踏まえて具体的な計画を立て、実践することが大切だと考えます。 	1	<p>これまでも県強化対策会議等において、競技団体と本県の競技力の現状と課題等の意見交換を行い、各競技団体が目標達成に向けた強化計画等を随時検討し、計画的に実施しているところです。</p> <p>今後も引き続き競技団体等と協議を重ねながら、更なる競技力向上に取り組んでいきます。</p>
第5章	宮崎県での大会開催を契機としたスポーツを活用した県づくりの展開	2	
	1 県内におけるスポーツの推進	2	
	<ul style="list-style-type: none"> 新施設はもちろんです、既存施設及び競技用具の整備・更新・充実を図ることの記載をぜひお願いします。 	1	<p>いただいた御意見を踏まえまして、以下のように修正します。</p> <p>《第5章》</p> <p>1 県内におけるスポーツの推進</p> <p>- (略) -、競技力向上に向けた<u>既存施設及び競技用具の整備等</u>により - (略) -</p>
	<ul style="list-style-type: none"> 宮崎県は、宮崎県らしく、できることをできる範囲で、既存の競技施設を活用し、本県代表が全国代表としっかり戦う力をつけ、関係者大会全体をしっかりと運営する力をつけ、県民が国体の正しい認識のうえに全国の来県者を心から迎えることが大切だと考えます。国体の本県開催を、一過性の取り組みにせず、モノづくりに終わらせることのないよう強く願っています。 	1	第5章に記載のとおり、大会開催を契機としたスポーツを生かした「未来のみやざき」づくりに繋がるよう取組を推進していきます。

区分	意見内容（要旨）	件数	意見に対する考え方
全般	その他	6	
	感染症対策	1	
	<ul style="list-style-type: none"> 大会における新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策について全く触れていません。今後新たな感染症が発生する可能性もあります。新たな生活様式を考慮した大会運営を考える必要があると思われ、そのことを構想で記載すべきだと思う。 	1	選手・役員・観戦者等が安心・安全に大会に参加することは大前提であると認識しています。今後の社会情勢等の変化に対応する必要があるため、以下を追記します。 《第1章》 - (略) - <u>なお、この構想の実現に向けて、社会情勢等の変化に対応しながら、本県での大会開催及び開催準備を推進していくこととします。</u>
	大会の簡素化	2	
	<ul style="list-style-type: none"> 感染症対策で費用が増える部分もあると思われ、これを契機に大会のより一層の簡素化が必要だと思います。 過去の大会や他の県がやっているからと横並びでやるのではなく、他県より踏み込んだ簡素化が必要だと思いますので、簡素化について構想で記載すべきだと思います。 	1	「大会の簡素化・効率化」については前出の「21世紀の国体像～国体ムーブメントの推進～」(平成25年3月国民体育大会委員会策定)にも指針として示されており、本県の簡素化・効率化に向けた具体的な取組内容は、県準備委員会に設置してある各専門委員会において、今後、検討していきます。
	<ul style="list-style-type: none"> 大会のメインは各競技の試合であり、でききるだけ適正に簡素に運営すべきです。特に、マスゲームなどで児童、生徒に大きな負担をかけることは、国体の本来の目的にそぐわないので縮小、廃止すべきだと考えます。 	1	開・閉会式の内容につきましては、今後、式典専門委員会で検討することとなります。
	準備状況についての質問	3	
	<ul style="list-style-type: none"> 各県選手、役員、観戦者の宿泊施設、輸送手段についての計画を伺いたい。 天皇皇后両陛下が開閉会式にご臨席される際、交通規制等による渋滞が予想されるが、その対応は計画されているのか。 開閉会式会場地付近では交通渋滞が予想されるが、対策は検討されているのか。 	1	大会の本県開催では、選手・役員をはじめ、大変多くの来県者が見込まれることから、宿泊、輸送等については重要な課題であると認識しています。
	1	今後、宿泊、輸送・交通、警備に係る専門委員会を設置し、課題の整理を行いながら、課題解決へ向けて取り組んでいきます。	
	1		